

郡市対抗女子駅伝に

中川京香さん出場

1月30日、熊本市のびぶれす熊日会館前をスタート・ゴールに第28回熊日郡市対抗女子駅伝大会が行われました。上益城郡チームの第1区(2・9キロ)を務めたのは中川京香さん(矢部中・金内)。区間8位という好位置で2区の選手にタスキを渡しました。その後の選手も力を発揮した結果、上益城郡チームは10位でゴール。昨年より5つ順位を上げました。中川さんは「いい走りができた。来年も選ばれるようにがんばりたい」と早くも次回大会に目標を定めていました。



第1区残り200mでラストスパートをかける中川さん



上益城郡チームの結団式。前列左から2人目が中川さん

1月に那覇市で開催された『第53回九州地区体育指導委員研究大会』で、体育指導委員の田代洋子委員(田小野)が「九州地区体育指導委員功労者」の表彰を受けました。この表彰は、地域における生涯スポーツの振興に貢献した体育指導委員に贈られるものです。田代委員は、平成3年から、旧矢部町で最初の女性体育指導委員として、町民、主に女性のスポーツ振興に努められました。また、上益城郡体育指導委員会の女性部長を務めたこともあり、郡内のスポーツ普及にも多大な尽力をされました。現在は、体育指導委員女性部長として、体育指導委員をまとめるリーダー的存在です。



田代洋子さんが功労者表彰 受賞

体育指導委員の永年の功績をたたえ



昨年12月12日〜19日、中国広州市で開催された、アジア地域の障害者スポーツの大会、2010年アジアパラ競技大会。41カ国から3,700名を超える参加者がある。その大会に日本代表として藤嶋大輔さん(井無田)が走り幅跳びに出場。5m09で6位入賞を果たした。大会では、突然の競技時間変更など、難しいコンディション調整を迫られたが、自己ベスト(5m17)に迫るすばらしい記録を残した。

2歳のとき、不慮の事故により右足の膝下を失った大輔さん。当時の記憶はない。「それが当たり前のように普通に生活していた」と語るように、サッカー、バスケットボール、ソフトボールからスノーボードまで、あらゆるスポーツを見事にこなす。練習は、大会直前のみ。競技用の義足は傷

みやすいため、激しい練習はできない。たまに約1時間をかけて町外の競技場へ行き練習を行うこともあるが、それ以外は自宅でのトレーニングと、いろんなスポーツに参加することで練習に替えている。「よく一緒に練習につきあってくれて助かっている」と、双子の弟貴博さんをはじめ、家族の応援が、大輔さんを支え続ける。

「山都町でこうやってがんばっていることを広く知ってもらいたい」

大輔さんは現在、2012年にロンドンで開催されるパラリンピックへの出場を目指している。さらに、「自分の名前を残したい」と、あと10cmまで近づいた日本記録(5m27)の更新にも挑戦すると力強く語った。

「できないことをつくりたくない」
屈託のない笑顔のなかに、大輔さんのあくなき向上心と強い意志が伝わってきた。

2010広州 アジアパラ競技大会 6位入賞 藤嶋大輔さん(井無田)

矢部高3年生の時に同じアジア大会で、100m、1,500m、走り幅跳びで金・銀・銅のメダルを獲得したこともある大輔さん。1月に2人目のお子さんが生まれた、家族を愛するよきパパである。